

対象学年:第5学年以上  
単元・領域等 「情報の扱い方に関する事項(情報の整理)」「書くこと」

1. 作成の趣旨

全国学力・学習状況調査の結果から本県の課題である「情報の整理」と「書くこと」の関連を図る学習で、調べた情報を基に意見文を書くという場面を設定して問題を作成しました。「目的や意図に応じて、集めた情報を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力や、構成や展開を考えて書く力」を身に付けることをねらいとしています。

- 【関連する学習指導要領の内容】
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。  
5・6年[知識及び技能](2)イ
  - 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。  
5・6年[思考力, 判断力, 表現力等]「B書くこと」ア
  - 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。  
5・6年[思考力, 判断力, 表現力等]「B書くこと」イ

2. 活用場面等(例)

- 例1 【第5学年の「書くこと」単元の終了後のたしかめ問題として】
- 〈光村図書5年:「あなたは、どう考える」(12月)
  - 〈東京書籍5年:「どう考える? もしもの技術」(1~2月)
- 例2 【情報を集めて書くことを学習する単元のレディネステストとして】
- 〈光村図書6年:「デジタル機器と私たち」(6~7月)〉
  - 〈東京書籍6年:「いざという時のために」(6月)〉

⇒活用後について

目的や意図に応じて、資料から必要な情報を取り出しているかを見取りましょう。また、情報を整理して文章の構成を考えて書く活動の効果に児童自身が気付けるように、学習を振り返る時間を設定しましょう。

3. 「情報の整理」と「書くこと」の関連を図る授業の充実に向けて

- 他教科との関連を図りながら効果的な言語活動を設定し、目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係付けたりするなどして、伝える内容を検討する場面を設定しましょう。
- 筋道の通った文章にするために、文章全体の構成や展開を考える際に、「考えと理由や事例」「原因と結果」などのつながりや配列を意識して構成メモなどを作成しましょう。

自分の主張に対して説得力をもたせるために必要な理由や事例はどれですか。また、構成をどのように組み立てればよいですか。



ぼくが伝えたい主張にふさわしい理由は〇〇と□□かな。説得力をもたせるためには、初めに□□の事例を書いてみよう。

- 学習活動を振り返る場面を設定し、目的や意図に応じて情報を整理することの良さについて、自分や級友の実際の活動を基に話し合う場を設けましょう。